

知事発言要旨

- 改めてお疲れ様でございます。昨日18日、政府の対策会議において、本県を含む首都圏1都3県に対する緊急事態宣言を、21日の期限をもって解除することが決定をされました。
- 緊急事態宣言は、約2か月半の長期にわたりました。これまで御協力をいただいた県民の皆様、飲食店をはじめとする事業者の皆様、さらには、医療機関、福祉施設などで命を守る取組に御尽力をいただいている皆様に対し、心から感謝を申し上げます。
- 緊急事態宣言は解除されることとなりますが、これで新型コロナウイルスとの戦いが終わるわけでは、決してありません。予断を許さない状況は、今も続いています。
- 本日の新規陽性者は、135名であり、ピーク時の約4分の1まで減少してきましたが、直近の2週間は、100人前後の推移に加え、100人台後半となる日もあり、下げ止まり傾向どころか、リバウンドの兆候すら示しています。
- このままのペースで新規陽性者が推移をすると、これから花見や歓送迎会、それから入学式、こういったシーズンを迎え、さらに気が緩み、外出が行われ、会食などが重なってくる、その場合には、感染の大規模な再拡大にもつながりかねません。
- また、病床占有率についても、未だに高い水準にあり、医療機関への負担を払拭するまでには至っていません。医療現場が大変厳しい状況に、長期にわたり置かれていることは今も変わりません。

- 今後、ワクチンの接種が本格化していく中で、これ以上、医療機関の負担を増やすことはできません。
- さらに、本県では新型コロナウイルスの変異株の陽性者が、昨日18日時点で64名と報告数としては全国で3番目に多い数であります。
- 国内で流行するウイルスが、変異株に置き替わっていくという専門家の意見もあり、変異株による感染のリバウンドが起りかねない、最大限の警戒が今も必要であります。
- そのため、緊急事態宣言解除後、これまでの要請などを一気に解除する、無くすのではなく、段階的な緩和が必要となります。
- 県としては、引き続き感染拡大の防止と、社会経済活動の両立を図ることができるよう取り組みを考えていきたいと思っております。
- 自粛も長期に及び、自粛疲れ、感染拡大防止対策疲れが指摘をされていますが、新型コロナウイルスの早期の克服こそが、現在の暗い世の中を変えていく、打開していくと思っております。
- 皆様の命を守り、そして、一刻も早く社会経済活動を回復していくためには、皆様の御協力が不可欠であります。
- 県民の皆様、事業者の皆様には、これまでも大変なご苦勞をいただき、あるいは命を守るためと、御協力をいただいております。
- これまでの成果を無にすることが無いよう、気を緩めることなく改めて感染防止対策等の徹底をお願い申し上げます。

- 県民の皆様のご負担、事業者の皆様のご苦勞が重なる中ではあります。引き続きのお願いで心苦しい点もありますが、今一度、新型コロナウイルス感染症対策を克服し、皆さんの愛する人、御家族、御兄弟を守るための取組に、改めての御協力を強くお願いを申し上げます。私からは以上です。